

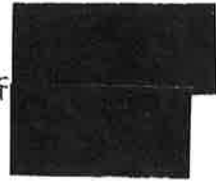
(様式第11)



病第 303 号
令和2年9月24日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

申請者 住 所 宮崎県小林市細野2235番地3
氏 名 小林市立病院
小林市病院事業管理者 坪内齊



小林市立病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒886-8501 宮崎県小林市細野300番地
氏名	[Redacted]

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

小林市立病院

3 所在の場所

〒886-8503 宮崎県小林市細野2235番地3	電話 (0984) 23-4711
------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	4床	床	床	143床	147床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器 7台、除細動器 3台、ペースメーカー 3台 ポータブルX線装置 2台 病床数 1床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、血液ガス分析装置 全自動血球計数測定装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置 免疫自動分析装置、輸血検査システム
細菌検査室	(主な設備) 孵卵器、安全キャビネット
病理検査室	(主な設備)
病理解剖室	(主な設備)
研究室	(主な設備) 蔵書 約400冊、雑誌 約1,800冊 パソコン(インターネット用) 2台、(電子カルテ用) 3台
講義室	室数 2室 収容定員 150人
図書室	室数 1室 蔵所数 1,500冊程度
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 17.67㎡ [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	44.6%	算定期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	66.0%		
算出根拠	A：紹介患者の数	1460人	
	B：初診患者の数	3270人	
	C：逆紹介患者の数	2158人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	8:15 ~ 17:00	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
29	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
30	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
31	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
32	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
33	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
34	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
35	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
36	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
37	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
38	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
39	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
40	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
41	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
42	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
43	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
44	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
45	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
46	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
47	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
48	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
49	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
50	看護師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
51	薬剤師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
52	薬剤師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
53	薬剤師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
54	診療放射線技師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
55	診療放射線技師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
56	診療放射線技師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	
57	診療放射線技師		(常勤) 非常勤 (専従) 非専従	8:15 ~ 17:00	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
58	診療放射線技師	[Redacted Name]	常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
59	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
60	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
61	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
62	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
63	臨床検査技師		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
64	臨床工学技士		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
65	臨床工学技士		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00
66	臨床工学技士		常勤 非常勤	専従 非専従	8:15 ~ 17:00

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること

3 重症患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間 使用の可否
救急処置室	50.43㎡	(主な設備) 無影灯、除細動器 心電計、モニター、救急車搬入口有	可
救急診察室	19.60㎡	(主な設備) 電子カルテ	可
検査室 (化学・細菌・生理)	150.95㎡	(主な設備) 生化学自動分析装置 血液ガス分析装置、全自動血球計数測定装置 全自動グリコヘモグロビン測定装置 免疫自動分析装置、輸血検査システム	可
手術室	138.72㎡	(主な設備) 高周波手術装置、内視鏡 自動体外式除細動装置、麻酔器 モニター、移動式レントゲン装置 3D内視鏡システム	可
集中治療室	16.91㎡	(主な設備) 人工呼吸器、ペースメーカー 除細動器、ベッドサイドモニター	可
高圧酸素室	18.65㎡	(主な設備) 高気圧酸素治療器	可
MR I室	49.84㎡	(主な設備) 1.5テスラ MR I装置	可
CT室	33.92㎡	(主な設備) 64列マルチスライス CT	可
X線TV室	71.32㎡	(主な設備) X線TV装置	可
X線一般撮影室	51.45㎡	(主な設備) 一般撮影装置 (2管球・1管球方式)	可

4 備考

平成30年9月20日付シレイ24080-1131-6小林市にて救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき認定済み。	
1 認定する救急病院等	小林市立病院
2 認定の有効期間	平成30年9月24日～平成33年9月23日
3 認定告示日	平成30年10月1日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受け入れ体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の整備事業について(昭和52年7月医発第692号各都道府県知事宛て厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急車又は患者搬送自動車により搬入した 救急患者の数	849人 (405人)
上記以外の救急患者の数	2272人 (31人)
合計	3121人 (436人)

(注) それぞれの患者については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急車又は患者輸送用自動車

救急車又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）
のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- ・ 病床の共同利用実績：1件（登録医 小児科）
- ・ 西諸医師会が実施する西諸医師会夜間急病診療を自院ではなく市立病院で開設する際に登録医の先生が市立病院にて診察を行っている。
※協同利用の場所：1F救急診察室（午後7時～午後10時まで）
当院協同利用数：199回
- ・ 西諸医師会時間外急病診療体制（小児科）
※協同利用の場所：1F救急診察室（午前9時～午後4時まで）
当院協同利用数：57回

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

(診療のための利用)
共同病床5床（全病床のうち空床を利用）
医療機器（CT、MRIその他必要な医療機器）
1F 診察室
(研究のための利用)

(研修のための利用)
2階大会議室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：
職 種：

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

別添 登録医療機関名簿のとおり

常時共同利用可能な病床数	5 床
--------------	-----

登録医療機関名簿

医療機関名	開設者	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
和田クリニック		小林市堤3727-1	内・胃・放	無
西小林診療所		小林市北西方1212	放・内・胃	同
若葉クリニック		えびの市大字杉水流50-1	内・消内・循・眼	無
小林泌尿器科クリニック		小林市細野1810-1	泌・性・内	無
えびの第一クリニック		えびの市大字原田2236	循・内	無
前田医院		えびの市大字栗下218-1	内・消・胃・循・小	無
桑原記念病院		小林市細野167	外・内・胃・肛・リ・皮・循	無
楨内視鏡内科病院		小林市真方242	内・呼・胃	無
花田耳鼻咽喉科		小林市堤2882-10	耳鼻咽喉・アレ・気管	無
園田病院		小林市堤3005-1	外・消・胃	無
桑原皮膚科医院		小林市細野59-1	皮	無
えびの市立病院		えびの市大字原田3223	外	無
丹医院		えびの市大字大河平4327番地37	内・外・皮	無
内村病院		小林市水流迫852-1	精・内・消	無
前田内科医院		小林市細野2759-1	内科	無
高崎皮膚科医院		小林市本町49-3	皮	無
川井田医院		高原町大字西麓173-3	胃・外・内	無
整形外科フレンドクリニック		小林市細野134-15	整	無
整形外科押領司病院		小林市細野162-1	整	無
池井病院		小林市真方87	外・麻・泌	無
小林市立須木診療所		小林市須木下田1224	外	同
堀胃腸科外科医院		小林市細野436-10	胃・外・内	無
えびの整形外科医院		えびの市大字小田1169-1	整・リ・リウ	無
国民健康保険高原病院		高原町大字西麓871	外	無
押川病院		小林市野尻町東麓1082-1	内・小	無
京町共立病院		えびの市大字向江508	内・呼・消・胃・循・小・リ・放	無
ひろた内科クリニック		小林市堤2792-24	内・胃・外・リ・肛	無
杉原耳鼻咽喉科		えびの市大字原田3236番地	耳、気、ア	無
立山整形外科医院		小林市細野1777番地1	整、リハ、リウ	無
整形外科前原病院		小林市細野2033番地	整	無
沖内科・小児科医院		小林市細野59番地8	内、小	無
二口子供医院		小林市真方212番地	小	無
いしざわ循環器内科		えびの市大字原田2143番地1	循、消内	無
よしむら循環器内科クリニック		小林市細野1606番地1	循、内、放	無

(様式第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

番号	研修日	研修演題	講師(発表者)	参加人数			場所	開催部署
				院外	院内	計		
1	H31.4.22	2018年 皮膚・排泄ケア認定看護師 活動報告	[Redacted]	5	66	71	大会議室	地域医療連携室
		食事摂取不良により創部治癒遅延をきたした患者への関わり ～プロチャスカの行動変容理論を用いた振り返り～						
		経腸栄養剤の変更により下剤が改善された症例						
		当院におけるニボルマブ(オブジーボ)の使用報告						
2	R1.5.10	宮崎県理学療法士会ブロック運営会議	[Redacted]	8	2	10	小会議室	リハビリ室
3	R1.5.29	宮崎県理学療法士会物療部会研修会	[Redacted]	33	9	42	大会議室	リハビリ室
4	R1.6.11	地域ケア会議振り返り	[Redacted]	3	8	11	大会議室	リハビリ室
5	R1.6.28	宮崎県理学療法士会 症例検討会	[Redacted]	57	10	67	大会議室	リハビリ室
6	R1.7.29	2018年度 緩和ケア認定看護師活動報告 ～認定看護師として、A氏との関わり～	[Redacted]	1	62	63	大会議室	地域医療連携室
		フリーエアー発見時の医師へのアプローチ ～異常所見をいち早く伝えるために～						
		産婦人科手術再開に向けての準備と手術の現状						
		在宅輸液療法中の薬剤混注による閉塞トラブルに対し 多職種連携が奏効した1例						
		短外施筋共同腱温存法を用いた後方進入人工骨頭挿入術の小経験						
7	R1.10.28	脊髄損傷患者における一般病棟での看護 ～回復過程・患者との関わりを振り返って～	[Redacted]	2	51	53	大会議室	地域医療連携室
		非接触型ICカードによる透析条件の自動化入力検討						
		当科における免疫チェックポイント阻害剤の使用経験						
8	R1.11.15	宮崎県理学療法士会 症例検討会	[Redacted]	56	10	66	大会議室	リハビリ室
9	R2.1.7	宮崎県理学療法士会 ブロック運営会議	[Redacted]	9	2	11	大会議室	リハビリ室
計				174	220	394		

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	9 回
(2) (1) の合計研修者数	394 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 無

イ 研修委員会設置の有無 有 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
[Redacted Name]	医師	外科	事業管理者	35	教育責任者
	医師	外科	病院長	28	
	医師	麻酔科	副病院長	42	
	医師	整形外科	診療部長	31	
	医師	外科	医長	24	
	医師	泌尿器科	医長	24	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	113.61㎡	(主な設備) パソコン、プロジェクター マイク設備
小会議室	46.75㎡	(主な設備) パソコン、プロジェクター 大型モニター
図書室	45.60㎡	(主な設備) 医学用図書及び医学雑誌 パソコン (インターネット回線) プリンター

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	小林市病院事業管理者 [REDACTED]	
管理担当者氏名	病院長 [REDACTED] 看護部長 [REDACTED] 放射線室長 [REDACTED] 事務部長 [REDACTED] リハビリテーション室長 [REDACTED]	薬剤室長 [REDACTED] 臨床検査室長 [REDACTED] 臨床栄養室長 [REDACTED] 臨床工学室長 [REDACTED]

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	各該当科、室にて保管過年度分は院内書庫にて保管。電子カルテ入力分は電子媒体にてサーバー保存	各年度毎に編纂して保管。電子カルテに患者ID毎に分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室 年度、診療科、医療機関毎に分類
	救急医療の提供の実績	診療情報管理室 年度、診療科毎に分類
	地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実績	地域医療連携室 各年度毎に編纂し保管
	閲覧実績	事務部 年度・月で集計し、診療科毎に分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	事務部、地域医療連携室 年度・月で集計し、診療科毎に分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	病院 1階 地域医療連携室、 2階 事務部
閲覧の手続きの概要	
①情報公開窓口での対応 (内容確認及び閲覧方法の案内)	
②情報公開窓口への情報開示請求	
③情報開示請求の受理	
④情報公開内容の審査 (開示・不開示)	
⑤開示請求手数料の請求・納付	
⑥開示 (閲覧・交付)	

前年度の総閲覧件数		7 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	7 件

(様式第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	回	
委員会における議論の概要		
<p>※「小林市病院事業開放型病床等利用運営委員会設置規程」に基づく令和元年度中の委員会開催については、開催実績がありません。 開放型病床（5床）の利用運営については、令和元年度の実績は0件でした。</p> <p>※当院としては、地域医療支援病院の運営等に係る審議事項について、毎月1回第2水曜日に4者会議を開催し、審議事項等について確認し協議しております。（開催回数実績：11回 ※3月が新型コロナウイルス感染症防止対策により中止） （参加者：医師会代表 健康福祉部長 医療介護連携室代表 地域医療を考える会代表 長寿介護課代表 健康推進課代表 当院事業管理者 当院事務部長 事務部経営企画係長） 議論の内容：①地域医療支援病院としての当院の役割 ②かかりつけ医の推進（一次医療と二次医療のすみわけ） ③当院の外来縮小への取り組み ④院内研修、院外研修開催案内等 ⑤介護との連携強化に向けた取組について</p> <p>※地域医療構想を踏まえた地域医療構想調整会議に当院の事業管理者が出席し、当院の役割や当院の病床の運用方針について説明を行っている。 また、当院の事業管理者が西諸医師会の理事となっており、開放型病床等の利用について管内医師会の先生方と運用について確認を行っている。</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（面談室）	
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	[Redacted]	
患者相談件数	4934件	
患者相談の概要		
介護保険関係	827件	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険申請に関する説明 ・介護保険サービスに関する説明、相談等
身体障害者関係	31件	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳申請に関する相談 ・障害年金に関する相談 ・障害者自立支援制度にする相談
退院援助関係	1899件	<ul style="list-style-type: none"> ・保険医療機関との転院調整 ・介護保険施設関係者との連絡調整 ・居宅介護支援事業書との情報交換、連携を図り退院調整
経済関係	30件	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料未納による資格喪失、もしくは期限付き保険証の患者に対し、担当課と調整。 ・限度額適応認定証申請の手続きの説明 ・生活保護制度の説明と、申請方法について ・医療費分納の相談
その他	2147件	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしや、家族と疎遠（絶縁等）になっている患者への生活援助 ・行政との連携（生活保護担当者等）
合計		4934件

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。